

1. 趣 旨

ODA事業は、実施現場のほとんどが開発途上国であるために、事業の実態や成果が国民には見えにくい面がある。そうした中、平成11年度に開始されたODA民間モニター事業は、公募された国民に、自身の目で海外のODAの現場を直接視察していただき、意見や感想を報告していただくことにより、国民参加によるODAの実施、ODAに対する国民理解を促進することを目的とする。

2. 実 績

平成19年度までの派遣モニター数の合計は704名、28カ国479案件を視察

平成	人 数	派 遣 国										
11年度	47名	中 国	ベトナム	フィリピン	ラ オ ス	タ イ	バングラデシュ					
12年度	104名	中 国	ベトナム	フィリピン	ラ オ ス	タ イ	バングラデシュ	インドネシア	マレーシア	モンゴル	ネパール	
13年度	104名	中 国	ベトナム	フィリピン	ラ オ ス	タ イ	バングラデシュ	インドネシア	マレーシア	モンゴル	ネパール	シンガポール
14年度	103名	中 国	インドネシア	ラ オ ス	タ イ	カンボジア	スリランカ	タンザニア	ガーナ	セネガル	ニカラグア	
15年度	48名	ケニア	ザンビア	ベトナム	バングラデシュ	モンゴル	モロッコ					
16年度	59名	タイ	中 国	カンボジア	インド	フィリピン	インドネシア					
17年度	90名	中 国	パキスタン	バングラデシュ	ベトナム	エジプト	セネガル					
18年度	89名	スリランカ	フィリピン	バングラデシュ	中 国	モンゴル	モロッコ					
19年度	60名	インドネシア	エチオピア	中 国	カンボジア	カメルーン	ホンジュラス					

3. 平成19年度実績

- (1) 派遣人数：60名（一般枠35名、教員枠19名、高校生枠（新設）6名）
- (2) 応募総数：2,363名（一般枠1,814名、教員枠333名、高校生枠147名、枠未記入69名）
- (3) 派遣時期・国（各国10名、高校生枠はカンボジアのみ）
 - 第Ⅰ期派遣（7月）：インドネシア・エチオピア・中国
 - 第Ⅱ期派遣（8月）：カンボジア・カメルーン・ホンジュラス
- (4) 選考方法：応募時に提出してもらう国際協力クイズへの回答、応募動機・帰国後の活動計画についての作文を審査して人数を絞った上で、抽選。
- (5) モニター参加者自己負担額：各国ともに一律8万円
- (6) モニター訪問時にテレビ制作スタッフが同行。BS・JAPANで毎週土曜日11:45-11:50で放送。同番組は、国際協力プラザのホームページでも視聴可能。

4. これまでの成果

- (1) 本件事業に参加したモニターの報告書をホームページ上で公開しているほか、グローバルフェスタJAPAN等の国際協力フェスティバルでモニター報告会などを実施し、ODAに対する国民の理解を促進している。
- (2) モニターは地元の新聞、テレビ等の取材を受ける場合が多く、こうした機会を通じ、各モニターが我が国のODA実施の現状につき広く紹介している。
- (3) モニターの中には、帰国後自ら国際協力活動への参加を希望する事例がみられ、青年海外協力隊等への採用例がある。
- (4) また、開発教育の一層の促進を目指し、平成16年度より教師枠を設定しており、帰国後、学校教育においてモニター事業で視察した内容が生きた教材として活用できるとして参加者ならびに開発教育関係者からも評価が高い。
- (5) なお、平成18年度に応募総数は1,445名（一般枠：1,126人、教師枠：319人）、モンゴル班については、同時期にモンゴルを訪問した紺野美沙子UNDP親善大使と我が国ODA案件（4案件）を合同視察した。